



東海村姉妹都市一般訪問団 米・アイダホフォールズ市へ



アイダホフォールズ市の皆さんとともに市庁舎前で記念撮影。最前列・右側に立つのは、第19代市長を2006年1月から務めるジャレッド・ファーマンさん。

アメリカ合衆国の中西部に位置する東海村の国際親善姉妹都市・アイダホ州アイダホフォールズ市。村では、去る6月30日から7月8日まで、村長をはじめとする一般訪問団16人を派遣し、これまでの27年間にわたる相互訪問を通じた異文化体験、教養研さんなど、800人を数える学生・住民が刻み続けた交流の歴史にまた新しいページを加えてきました。今月の「広報とうかい」では、訪問団の一人、東海村姉妹都市友好協会

会長の山原武さんの報告など、一行の滞在について取り上げ、皆さんにご紹介します。



■訪問団一行の主な日程

6月	30日(月)	午前11時、役場で開催の見送りに参加。一路、成田国際空港へ。シアトル、ボーイング(アイダホ州都)と飛行機を乗り継ぎ、午後10時にアイダホフォールズ市へ到着。
	1日(火)	ジャレッド・ファーマン市長と市議会を表敬訪問。市の組織・政策・予算・雇用等について意見交換。市庁舎別館(東海村から過去に贈られた品々が展示)を見学。スポーツマンズ公園で記念植樹。市営タフエス動物園と市内・古民家を見学。コロニアル・シアターで開催の歓迎会に出席、訪問団持参の記念品を贈呈。
	2日(水)	風力発電所を見学。メラルーカ社(美容・健康製品等を通信販売する市内大手企業)、アイダホ博物館を訪問。“アライブ・アフターファイブ”(夏季に行われる歩行者天国とコンサート)に参加。
	3日(木)	イエローストーン国立公園を視察訪問。
7月	4日(金)	アメリカ独立記念日のパレードに参加。市内一般家庭の日本庭園を見学。キャロル・ウォルターズさん(アイダホフォールズ市姉妹都市協会会長)主催のバーベキューパーティーに出席。スネーク川の打ち上げ花火を観賞。
	5日(土)	ファーマーズマーケット(農産物等の直売所)を見学。市内の1A野球チーム「アイダホフォールズチャッカーズ」ホームグラウンドを訪問。市内レストランで開催の送別会に出席。
	6日(日)	アイダホフォールズ市を午前8時に出発。ソルトレークシティを経由でロサンゼルスに入り、市内を見学。
	7日(月)	ロサンゼルス国際空港を出発。成田国際空港に到着後、一路、東海村へ。
	8日(火)	

■訪問団一行

(※敬称略)

村上 達也 (むらかみ・たつや)	東海村長 (アイダホフォールズ市一般訪問団長)
山原 武 (やまはら・たけし)	東海村姉妹都市友好協会会長 (舟石川駅在住)
井坂 成子 (いさか・しげこ)	東海村議会議員
舛井 文夫 (ますい・ふみお)	東海村議会議員
青木 勝男 (あおき・かつお)	東海村姉妹都市友好協会会員 (舟石川在住、公募)
井坂 昌子 (いさか・まさこ)	東海村姉妹都市友好協会会員 (村松在住、公募)
香澤 容子 (くつざわ・ようこ)	東海村姉妹都市友好協会会員 (須和間在住、公募)
坂内 信行 (さかうち・のぶゆき)	東海村姉妹都市友好協会会員 (照沼在住、公募)
舛井 きくえ (ますい・きくえ)	東海村姉妹都市友好協会会員 (舟石川在住、公募)
村上 言英 (むらかみ・ことえ)	東海村姉妹都市友好協会会員 (石神内宿在住、公募)
橋本 和一郎 (はしもと・かずいちろう)	日本原子力研究開発機構職員 (通訳)
芦田 朝太郎 (あした・あさたろう)	日本原子力研究開発機構職員 (通訳)
大越 実 (おおこし・みのる)	日本原子力研究開発機構 ワシントン事務所滞在(通訳)
安藤 将人 (あんどう・まさと)	社団法人・海外電力調査会 ワシントン事務所滞在(通訳)
古川 政史 (ふるかわ・まさし)	東海村総務部自治推進課職員 (事務局)
川崎 裕子 (かわさき・ゆうこ)	東海村福祉部住民課職員 (事務局)



東海村姉妹都市友好協会会長
（舟石川駅東） 山原 武
Yamahara Takashi

「感動と感激のアイダホフォールズ市訪問」

東海村とアイダホフォールズ市は、昭和56年（1981年）7月に国際親善姉妹都市の盟約を締結し、以来27年にわたって、学生を含め延べ800人の方々が相互に訪問を行い、友好親善を深めてきました。

今回の訪問団は、村上達也村長を団長に14人で構成され、6月30日から7月8日までの9日間、アイダホフォールズ市を訪問しました。役場玄関前での見送りの式の後、成田国際空港へ向かい、シアトルを経由し、現地時間で30日の午後10時ごろ（日本との時差は16時間。サマータイム期間は15時間）、アイダホフォールズ市の空港に到着しました。空港では、市長のジャレッド・ファーマンさん（Mayor Jared D. Fuhrman）をはじめ、キヤロル・ウォルターズさん（Ms. Carole Walters）が会長を務めるアイダホフォールズ市姉妹都市協会の方々の温かな出迎えを受けました。また通訳として、ワシントンDCに駐在する独立行政法人・日本原子力研究開発機構と社団法人・海外電力調査会（日本原子力発電株式会社社員）の2人が合流し、訪問団は16人となりました。

翌日7月1日、ファーマン市長とアイダホフォールズ市議会の表敬訪問を行いました。市政につ

いての説明を受け、意見交換をした後、市庁舎別館を訪れました。正面玄関にある立派な陳列棚には、過去に東海村から贈った記念品が整然と収められており、アイダホフォールズ市が東海村との姉妹都市交流に懸ける誠実さと熱意を強く感じました。その後、市街を流れるスネーク川沿いのスポーツマンズ公園で記念植樹を行いました。この公園には東海村から寄贈された石灯籠もあり、大きく育った歴代の記念樹とともに、両市村の友好親善を如実に示す公園ともなっていました。

7月3日は、イエローストーン国立公園への日帰りバス旅行が計画されていました。広大な農場・牧場、また雪を残すティートンの山並み、公園内の間欠泉、グランドキャニオン、湖、平原を歩むバッファローの群れなど、日本では見られない雄大な自然を十分満喫した日となりました。

7月4日は、アメリカ合衆国の独立記念日で、華やかに飾り付けされた姉妹都市のフロート（山車）に乗って、炎天下の目抜き通りをパレード。沿道の市民の大喝采を浴び感激しました。パレードには107団体を数える参加があり、どの団体のフロートにもぎやかで力強く、アメリカのパワーを直接肌で感じました。一方、多くの観客が集う沿道はというと、こちらも家族総出でパレードを楽しんでいる様子で、あどけない子どもたちの姿も多く見掛けましたが、行儀しつけの良さに

は感心しました。この日の夜は、ホテル内の庭に特別に設けられた観覧席から花火を楽しみました。会場のスネーク川沿いは、各地から集まる見物客を加えて10万人の人出になるとのことです。すから、やはりそのスケールには驚かされます。

そのほか、滞在期間中には、市営動物園、築100年を経た古民家、風力発電所、メラルーカ社（アイダホフォールズ市を地場に急成長した化粧品・健康食品等の通販会社）、アイダホ博物館、街角での「アライブ・アフターファイブ」（夏季・毎週水曜日の歩行者天国。催事内容もカントリーミュージックなど多彩、朝市など）の見学、盛大な歓迎会に送別会など、市を挙げての盛りだくさんの行事が用意されていました。訪問団一同、すべてに積極的に参加し友好親善に努めてきました。

今回の訪問で何よりも強く感じたことは、重ねての言葉になりますが、ファーマン市長をはじめ、アイダホフォールズ市姉妹都市協会の方々の姉妹都市交流に懸ける誠意と熱意でした。またINL（Idaho National Laboratory）＝アイダホ国立研究所）やDOE（Department of Energy）＝米エネルギー省）アイダホ事務所など、原子力関係者の方の積極的な行事への参加も特徴的で、新しい発見と感動感激の連続でした。私たち一行は7月7日、予定どおり帰国の途に就きましたが、滞在中、アイダホフォールズ市姉妹都市協会ほか多くの皆さんには大変お世話になりました。この場を借り、感謝の言葉を伝えることができたいと思います。